



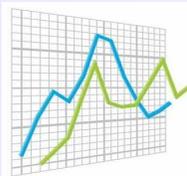
学校便り 9月号

かけはし

学校 HP 学校ブログ



薩摩川内市立里小学校 薩摩川内市里町里 1601 TEL 09969-3-2008
発行 令和4年9月21日 責任者 校長 永野 俊也



統計の話 データで見る里小学校

～ R3年度とR4年度のデータ比較から 魅力ある学校を目指して～

校長 永野 俊也

2学期がスタートしました。夏休み中、新型コロナウイルス感染拡大が過去最高を記録するなど、大変心配される状況がありましたが、小学校、幼稚園とも幸い大きな影響がなく、みんな元気に登校・登園ができています。

さて今日は統計のお話です。「統計の数字は表と裏がある。」と言われる。表とは例えば、状況を正確に把握し、将来を予測し備えられることや、ウソを見抜くということでしょう。

かつて日本のプロ野球(NPB)では、世界リーグを視野にそれまで各球団がばらばらに採用していたボールを統一球として規格を統一しましたが、事件は2013年起きました。いわゆる「飛ぶボール事件」です。統計学的に前年と比較し、ボールに手を加えない限りありえない飛距離の数値がでたため、追求され明るみになりました。(この真相は、前年のデータが基準値より低かったため、メーカーに改善しなさいとNPBが指導し、より基準値に近づけたという内容で、そう発表すればなにも問題がなかったものを、NPBがひたすら隠そうとしたため問題となりました。メーカーが一方向的に悪いわけではありません。)

裏の面はというと、データを操作されると間違った根拠の元、間違った判断が行われる。正確な数字を出していても、一部の情報だけ切り取って伝えると違った印象で受け止められる。いわゆる統計のマジックで意志を操作される可能性があるということです。

例えば、県本土の学習塾の前を通ると、〇〇大学〇〇名合格! 〇〇高校〇〇名合格! と華々しく書かれた数字を見ますが、合格者数と同時に、不合格者数も見ないときちんとした状況把握はできません。また、一般的に難関校を受験する生徒は、複数校受験することが多いため、一人でいくつもの学校の合格通知をもらうことも多いはずですし、さらには、その数字が掲示されている塾の受験者による数字なのか、系列グループ全体の数字なのかも分かりません。ですから、その数字は広告として切り取られた一部の情報であり、全体像を示しているわけではないと冷静に受け止める必要があります。

さて、前置きが長くなりました。里小学校の統計データを扱う場合、留意しなければならない点は、児童数が46名(現在は夏の転出により44名)と少ないために、欠席などの理由により1名欠けるだけでも大きな影響が出ます。また前年比となると、昨年度末にかけ4名の児童の転出があったので、その影響も受けるなど、様々な要素を冷静に見ていく必要があります。次に示すデータは、9月14日に行われた第2回学校運営協議会の資料に入れたものの抜粋となります。欠席者0名で、比較の条件も揃っていると判断し使用したデータです。

【学力】

4月実施 教研式学力検査(NRT) 状況 学校全体の学力偏差値 **52.2** (R3 52.6)
学力期待値(知能検査との相関から期待される学力)を下回る割合 **3.0%** (R3 13%)

このデータが示す状況は、里小学校の学力は、全国より若干上(全国基準が50)で、ほぼ昨年度並みの学力を維持していることが分かります。また、学力期待値を下回る(-8%以上)割合が減っているということは、学力の底上げを先生方が丁寧に行ってくれていると、

私は見えています。次に体力面を見てみましょう。体力テストの結果について、全国平均を上回っている児童の割合です。

【体力面】

男子 60% (R3 62.5%) 女子 64.5% (R3 75%)

前年度より下がっていますが、それでも十分高い数値です。子供たちが朝活や体育の授業に一生懸命取り組んでいる成果です。持久力や走力には少し課題が見えるようですが、朝活では毎回私も全力で走りますので、早く追いつき、追い抜く児童がいっぱい出てくれると嬉しいです。

【生活面】

今年度のアンケートによる いじめ認知件数は1件です(すでに解消済み)。子供たちの些細な変化を見落とさないように今後も努めていきます。(不登校生0名です。児童一人平均の読書冊数は、268.7冊/年)

こうやって見ていくと、データもよき学校ということを示しています。ただその中でも、際だって大変!と目に入ったデータが、学校便り7月号で紹介した児童の口腔環境についてでした。

「このままでは、子供たちが大人になった時には、歯がぼろぼろになってしまう…」

そういう危機感から、昨年度1学期途中より重点課題に掲げ、取り組みました。その結果、

むし歯のない児童: R3 小6 18.2% → R4 小6 75%

歯肉炎所有児童: R3 小6 72.7% → R4 小6 25%

と、もう少しではありますが、見通しが立ってきたので、「人生100年時代をどう生きるか」と励ましと次なる目標を伝えるために、7月号ではこの話題を中心に文章を書きました。

学校を経営する上で、データとして表れる数字をどう読み解き、正しく活用して、針路を決め舵を切るかということは大切なことです。ただそれ以上にデータで読み解けない、子供たちの表情、心の微妙な動きに、全教職員みんなが心を配り、学校を支えてくれています。

「社会に開かれた学校」として、今後も学校の様子について、随時情報発信をしてまいります。保護者の皆さま、地域の皆さまと共に、子供たちの明るい未来へ歩む学校でありたいと思います。どうぞ、ご意見、ご質問等ありましたらお気軽に校長室・園長室へお立ち寄りください。

お待ちしております。

10月行事

- 5日(水) 委員会活動
学校運営協議会(中津小)
- 6日(木) 薬物乱用に関する授業(56年)
- 8日(土) 土曜授業
- 11日(火) ~読書旬間(~21日)
- 12日(水) クラブ活動
- 14日(金) かのこゆり号来校
- 18日(火) 中期ふるコミュ(オンライン)
- 26日(水) ~27日(木)
社会科見学宿泊学習
市陸上記録会(5・6年)
- 28日(金) 一日遠足(1~4年)
陸上記録会休養措置(5・6年)



R4年 全国学力・学習状況調査 結果について

4月19日6年生を対象に実施された検査結果について報告します。(数値は正答率)

	本校	鹿児島県	全国
国語	65%	66%	65.6%
算数	69%	63%	63.2%
理科	70%	67%	63.3%

数値を見て分かれるとおり、本校は国語がほぼ県や全国並、算数、理科が上回る結果となっています。

問題に目を通してみると、算数や理科であっても文章の読解の他、全教科、様々な資料活用や条件選択など、課題解決能力を問われる問題が増え、昨年度よりも難易度が高くなっていると感じました。

その中で、本校は無答率が0%であり、全員が粘り強く、全ての問いに答えようとする姿がありました。また、同じメンバーで受けた5年生の1月に実施、鹿児島学習定着度調査の県平均通過率と比較しても、+1.4~+9.3と全教科伸びています。これは、5年生の3学期、検査結果をもとに数値の低かった課題の復習がよくなされ、6年生への引継ぎがスムーズに行われたことを現しています。今回の結果も全ての教員で研修を行い、データを共有し、課題の克服に生かしていきます。6年生のみならず、自信を持って今後も学習に励んでください。



2学期がスタートしました!

9月1日(木)は、2学期の始業式がありました。今年度も、新型コロナウイルス感染症対策で、校長室から各教室に向け、リモートで行いました。児童代表の言葉では、2年生の久保田漣さんと5年生の西蘭彩里さんが、夏休みの思い出や2学期に向けての決意などを堂々と発表してくれました。

各教室では、子供たちが、校長先生からの話を聞きながら、2学期に向けての気持ちを新たにしていました。



運動会応援団紹介



【赤組応援団】

団長	後藤	伝真	さん
副団長	西川	妃華	さん
	南蘭	壱咲	さん
	辻	希果	さん
	山下	敬斗	さん
	長井	海空	さん

【白組応援団】

団長	石原	航介	さん
副団長	原田	梨央	さん
	塩田	瑞歩	さん
	西蘭	彩里	さん
	庵地	琴晴	さん
	塩田	柚希	さん